

**新型コロナウイルス対応緊急支援助成
事業計画**

申請事業名(主)	2021子ども学習支援団体応援助成		
申請事業名(副)	低所得家庭への学習支援の輪を広げます		
※任意	入力数 主 17 字 副 18 字		
申請資金分配団体名	特定非営利活動法人キッズドア基金		
休職前事業への採択/申請歴	<input type="checkbox"/>	2019年度資金分配団体に採択	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	2019年度実行団体に採択	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	2020年度資金分配団体(通常枠)に申請検討中	<input type="checkbox"/>
	<input type="checkbox"/>	なし	
	<input type="checkbox"/>	第1期コロナウイルス対応緊急助成に複数事業で申請	

優先的に解決すべき社会の課題

領域	分野	
<input type="checkbox"/>	1) 子ども及び若者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> 1)-①経済的困難など、家庭内に課題を抱える子供の支援
		<input type="checkbox"/> 1)-②日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援
		<input type="checkbox"/> 1)-③社会的課題の解決を担う若者の能力開発支援
<input type="checkbox"/>	2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> 2)-①働くことが困難な人への支援
		<input type="checkbox"/> 2)-②社会的孤立や差別の解消に向けた支援
<input type="checkbox"/>	3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動	<input type="checkbox"/> 3)-①地域の働き場づくりの支援
		<input type="checkbox"/> 3)-②安心・安全に暮らせるコミュニティづくりへの支援

上記以外 その他の解決すべき社会の課題	<input type="checkbox"/>	入力数 0 字
------------------------	--------------------------	---------

実施時期	2021年7月 ~ 2022年 4月	事業対象地域	全国 <input type="checkbox"/> 特定地域 <input type="checkbox"/> ()	事業対象者: (事業で直接介入する対象者と、その他最終受益者を含む)	日本国内で活動する公益の実現をめざす民間非営利団体で、子どもへの学習支援を行っている、またはこれから行う団体。最終受益者は小中学校生。	事業対象者人数	10団体
------	--------------------	--------	--	---------------------------------------	---	---------	------

I. 団体の社会的役割

(1)申請団体の目的	キッズドア基金の母体であるNPO法人キッズドアでは、過去10年間、経済的事情により塾や習い事のできない子ども達のための無料学習会を展開してきました。学習支援に加え、金銭的な支援を直接届けるために、2017年認定NPOキッズドア基金を設立しました。金銭的な支援により、低所得家庭の小中高校生の受験や進学を支援し、可能にすることが団体の目的です。これまでの学習補助や奨学金といった進学後の経済的援助でなく、受験・進学準備へ経済的支援を差し伸べる点、また、NPO法人キッズドアと連携して学習ツールや受験情報提供等サポートを行うことで、より進学の確度が高まるように工夫している点で従来の支援と異なります。弊会の活動から低所得家庭に対する教育や進学への支援が広がり、支援を受けた学生が、経済的に自立した社会に貢献できるようになることで、貧困の連鎖を断ち切ることが最終目標です。
(2)申請団体の概要・事業内容等	①奨学金事業、②助成事業、③調査研究、を活動の柱とし、2020年は以下のような事業の実績があります。 奨学奨学金事業【奨学金事業】：低所得世帯の小中高生約150名を対象に奨学奨学金を給付。 受験サポート奨学金【奨学金事業】：クラウドファンディングと企業寄付を原資に、低所得世帯の高校生557人に受験準備のための奨学金を支給(高3：5万、高2：3万円)、NPO法人キッズドアより受験サポートを提供。 子ども支援団体助成事業【助成事業】：子ども支援活動を行う全国の10団体へ助成金を支給。 学習支援スタートアップ事業【助成事業】：新規で学習支援事業をスタートした2団体への助成金支給と組織運営のハンズオン支援を提供。

入力数 (1) 384 字 (2) 306 字

II. 事業の背景・社会課題

新型コロナウイルス感染症により深刻化した社会課題	コロナショック後、就業環境の急激な悪化が生じており、特に非正規労働者の雇用機会が減少しています。低所得・一人親の子育て家庭はこうした状況から所得減少の影響を多大に受けており、コロナ感染の収束が見えない中、経済的苦境が長期化する事態となっています。低所得家庭は、塾や習い事に通う余裕がなく、家庭学習の環境が整っていない場合も多くあります。さらにコロナ禍による休校もあり、教育格差が拡大する懸念があります。こうした状況が続けば、将来的に進学やキャリア形成が困難となり、就労して経済的に自立できずに貧困の連鎖が継続することになります。キッズドア基金の母体であるNPO法人キッズドアは、首都圏と東北の76の学習拠点において、年間2000人以上子どもに支援届けました(2019年実績)。一方、日本全国には多くの子ども支援団体が存在するものの、資金、人材、ノウハウが不足しており、効果的な学習支援を継続的に運営できていない実態があります。こうした団体に資金およびノウハウを提供することにより、全国すみずみまで支援を届け、インパクトを最大化する必要があると考えます。2020年の助成事業では、10団体に助成金の支給、新規立上げ2団体に助成金および運営の伴走支援を行いました。 https://kidsdoorfund.com/news/%e5%ad%a6%e7%bf%92%e6%94%af%e6%8f%b4%e3%82%b3%e3%83%bc%e3%83%87%e3%82%a3%e3%83%8d%e3%83%bc%e3%82%bf%e3%83%bc%e7%a0%94%e4%bf%ae/
--------------------------	---

入力数 693 字

III.申請事業

(1)申請事業の概要
新規立ち上げや運営ノウハウが必要な2団体には、資金援助に加え、運営のハンズ・オンサポートをします。8団体には、すでに実施している事業の拡大・充実化に対応できるよう、助成金に加え運営ノウハウを文書またはオンラインで提供します。 ①250万円X2団体：新規立ち上げや、学習支援プログラムにサポートが必要な団体に、助成金に加え伴走支援を提供。伴走支援はロジックモデルの作成、または学習支援拠点運営ノウハウの講座・ワークショップ受講、どちらかを選択。 ②200万円X8団体：助成金支給のみ。

入力数 240 字

(2)活動(資金支援)(実行団体の活動想定)	時期
地域で学習支援を新たにスタートする団体、または既に活動している子ども支援団体で、学習支援の充実化を行う団体	
・募集要項、申請資料、募集HPの作成、募集開始	・2021年7月
・支援団体決定、資金提供、各団体において活動開始	・2021年8月～2022年3月
例として、以下のような事業	
・主に地方で、新たに無料の学習会や、学習支援を兼ねた居場所や子ども食堂を始める事業	
・子ども食堂を実施している団体、または学童が、新たに学習支援に取り組む事業	
・すでに地域で様々な活動を行なっている団体が、子ども食堂や居場所、学習会を始める	
・子ども食堂や居場所、学習会を運営する団体が、拠点・回数や対象学年を拡大する	
意見交換会および事業報告書提出。	・2022年4月

(3)活動(資金分配団体による伴走支援)	時期
10年以上学習支援に取り組むNPO法人キッズドアとの連携による、学習支援事業運営のノウハウを提供	
・事前評価：申請資料の審査、助成団体の選定、契約、実行	2021年7月
・学習支援コーディネーター養成講座の提供	2021年8月～2022年3月
・ロジックモデルの作成支援	2021年8月～2022年3月
・ボランティア研修テキストや学習支援に必要な帳票類の提供	2021年8月～2022年3月
・継続的なコンサルティング、事業評価の手法	2021年8月～2022年3月
意見交換会および事業報告書提出。	2022年4月

(4)今回の事業実行を通じた目標	実施・到達状況の目安とする指標	把握方法	目標値/目標状態	目標達成時期
助成先団体が、それぞれの地域で学習支援を人数および質両方の面から充実・拡大させ、子供支援を特に郊外や地方において広げる。	事業実行団体における ・新規学習支援の立ち上げ数 ・拠点数、支援開催回数、受益者数の増加 ・学習支援内容が具体的にどう充実したか	定期的なミーティングとアドバイス、意見交換会、および事業報告書の提出。	・新規の学習会立ち上げが実現 ・既存学習会において、開催回数、対象年齢、拠点数等の拡大・増加など充実化 ・子供食堂・居場所などにおける学習支援の開始・充実化	2022年3月

(5)事業実施後(1年後)以降に目標とする状態
例として、以下のような取り組みが実行に移されている。 ・新たに無料の学習会や、学習支援を兼ねた居場所や子ども食堂を始める ・子ども食堂や学童保育を実施している団体が、新たに学習支援に取り組む、または強化する ・既存の地域団体が、子ども食堂や居場所、学習会などを始める ・学習会を運営する団体が、開催日数を増やす、対象学年を広げる、拠点を広げる

入力数 171 字

IV.実行団体の募集

(1)採択予定実行団体数	10	(2)1実行団体当たり助成金額	200万円(8団体)、250万円(2団体)
(3)申請数確保に向けた工夫	<ul style="list-style-type: none"> ・非営利市民団体のコミュニティサイトCanpanプロジェクトのHPでの告知 ・弊会および母体であるキッズドアからのネットワーク、ホームページ、およびSNSを通じた通知 		
(4)予定する審査方法 (審査スケジュール、審査構成、留意点等)	審査期間：7月上旬 審査指標 ①目標設定の明確さ：活動の成果目標に具体的に数値目標がある。また、利用者へのアンケート等成果を図る工夫、②ニーズ分析の明確さ：子どもや保護者からのニーズがあるか、③共感性と参加の度合い：計画内容が市民から支持・共感をしやすい。活動や寄付を通じて参加する市民の数の現状および計画、④実現に向けた手法の妥当性：活動が目標の実現に向けて具体的に、現実的な内容で、予算が適切・妥当に算出されているか。⑤活動の実施体制の適切さと組織のビジョンの明確さ：ボランティア、スタッフ、事務局体制の充実などの体制が整っているか、団体の事業ビジョンが明確かどうか。⑥助成終了後もその活動を継続・発展させるための工夫や処置があるか。⑦自主的な運営にむけて努力している姿勢：助成金を活用して財源確保が図られる工夫があるかどうか。多様な財源確保がとられているか。		

V.事業実施体制

(1)メンバー構成と各メンバーの役割	代表理事、伴走支援マネジャー：松見 広報・ファンド担当：[] 助成金募集・支給事務：1名(アルバイト)
(2)他団体との連携体制	母体であるNPO法人キッズドアに、告知、伴走ノウハウの提供に関する支援を依頼予定。
(3)想定されるリスクと管理体制	各団体がそれぞれ異なる事情を抱えているため、それぞれの事情に合わせてロジックモデルの作成、管理運営者育成を実行する必要がある。そのためのノウハウの提供ができるスタッフが弊会に配置し、伴走や管理を効果的に行うことができるかがチャレンジである。

VI.関連する主な実績

(1)休眠預金以外の助成・補助金活用の有無				
①コロナウイルス感染症に係る事業				
本申請事業について、コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け助成金等を分配している(予定も含む)	有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>	有の場合その詳細	
本申請事業について、国又は地方公共団体から補助金又は貸付金(ふるさと納税を財源とする資金提供を含む)を受けていない。	無 <input type="checkbox"/>		※有の場合、選定の対象外となります(公募要領：助成方針参照)	
本申請事業以外の事業について、コロナウイルス感染症に係る助成金や寄付等を受け助成金等を分配している(予定も含む)	有 <input type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>	有の場合その詳細	2021年度受験サポート奨学金(高3生一人5万円、高2生一人3万円を支給)において、目標支給人数500人に対し、150人分670万円の資金を助成金にて確保済。
②その他、助成金等の分配の実績				

2020年度に以下12団体への助成および伴走支援を提供。
 「2020コロナウイルスに負けるな！」助成事業(10団体、既存団体の活動充実)：おさんぽ なないる(愛知県)、認定NPO法人コロンブスアカデミー(神奈川県)、特定非営利活動法人ここ(大阪府)、ボランティアグループ サンハウス(福岡県)、認定NPO法人CPAO(大阪府)、特定非営利活動法人志塾フリースクールラシーナ(大阪府)、特定非営利活動法人しげまき子ども食堂-げんき広場-(大分県)、ふじの森のようちえん “てって”(神奈川県)、特定非営利活動法人 放課後こどもクラブBremen(宮城県)、みんなでごはん(東京都)
 「学習支援スタートアップ」子ども学習支援団体応援助成(2団体、新規活動の立ち上げ支援)：砂町よっちゃん家(東京)、NPO法人NEXTしらかわ(福島)

(2)申請事業に関連する調査研究、連携、マッチング、伴走支援の実績、事業事例等の実績

2020年に助成および伴走支援をした上記12団体からは、資金のみならず運営への助言により、学習支援の質・内容が改善した、事業の立ち上げが実現した、との声をいただいています。キッズドア含め、首都圏の大規模な学習支援団体ほどの基盤がない小規模団体、地方団体に資金とノウハウを提供することで、学習支援がより広範に必要な層に届き、インパクトを最大化できると実感しています。

なるべく多くの団体に助成を行いたのですが、弊会の事務管理負担および伴走支援のノウハウと人材のキャパシティを考慮し、今回の助成目標は10団体、そのうち2団体にハンズオンの伴走支援を提供する予定です。